

小御垂の森の枕返し

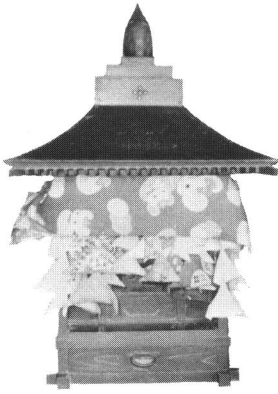
《長沼》

小御垂の森(小乱の森)の枕返しとは、いかなる神の仕業か、または魔神妖怪のなせる仕業か。神社の拝殿に枕して寝るといつの間にか東枕は西枕となり、北枕は南枕になるといわれる。また時折、社中鳴動することもあるといわれた。これ神明の威厳のいたすところか。妖怪は古今見た者はないといわれる。古来、枕返しの伝説は小乱の森に限らず、本念寺の御堂に寝た者もこの枕返しに逢ったという説がある。この現象は神社仏閣に時にふれて見られるので、神仏のなすところか幽界妖怪のなせる業かはつまびらかでない。

(「長沼名義考」より)

滝の廻り地藏様

《滝》



滝の廻り地藏様

滝部落に、大永山青龍寺の大日坊が高野山から背負ってきたと伝えられる陶造の地藏菩薩像がある。この地藏様は、いつごろだれの手によって造られたか詳らかでないが、日本国中の土で造られたものであるといわれる。この地藏様を村人は子育ての廻り地藏様といって、各家を持ちまわる。各家々に四、五日ぐらいつおかれ、